

中津川市上下水道だより

冬季の水道管凍結にご注意ください。

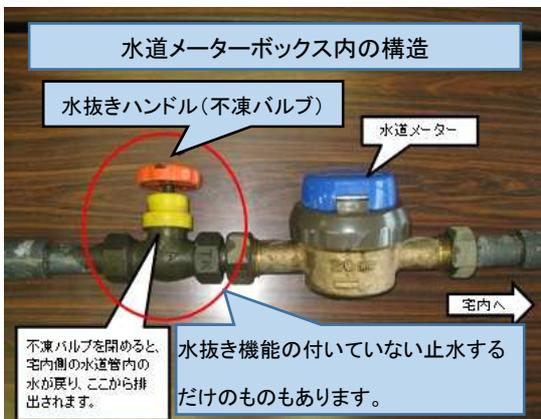
中津川市でも例年12月下旬ころから水道管が凍結し、宅内で漏水が起こるなどの被害が報告されます。目安としては**気温が氷点下 4℃以下になると水道管が凍結しやすくなります**。屋外の日陰、風当たりの強い、水道管が露出しているなどの場所は特に注意が必要です。宅地内の漏水は、修繕対応の費用などお客様への負担が大きいのとなります。次のような対応により水道管凍結を予防できますので、ご協力いただきますようお願いいたします。

① 水抜き栓の確認(水道管の水抜きを行う。)

水を出したままにして水抜き栓を閉め、水が止まるかどうかを確認しましょう。水が抜けると空気が管に入り、ヒューという音がします。再び水を使用するときは、蛇口が閉まっていることを確認してから水抜き栓を開けます。空気の抜ける音とともに水がでます。水抜き栓の位置や形状は下図のようにさまざまなので事前に確認しておくことと対応がしやすいです。特に、長期間留守にする場合などは水抜きをしておく、家に戻ったら水浸しといったような事態を防ぐことができます。

(水抜き栓イメージ例)

① 水道メーターボックス内に付属



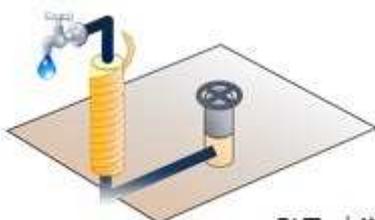
② 水栓に付属



(①の不凍バルブで水抜きを行うと、宅内の全ての蛇口 (②水抜き栓の付属する水栓のみ水抜きされます。) から水が出なくなります。)

② 屋外水栓やメーターの保温

むき出しになっている水道管は保温材や保温ヒーターにより保温してください。また、メーターボックスのフタが金属製の場合は、発泡スチロールなどの保温材をボックス内に入れると有効です。(ただし、検針員による毎月の検針業務に支障がないように設置してください。)



引用:水道PRパッケージ

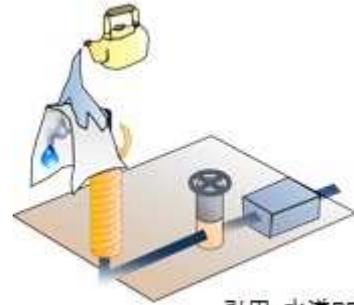


引用:水道PRパッケージ

もし凍結してしまったら・・・

水道管を凍らせたままにしておくとうの破裂につながる場合があります。凍った部分にタオルを巻いてからぬるま湯をゆっくりかけてください。(直接蛇口にお湯をかけると急激な温度変化で水道管が破損する恐れがあります。)

水道管が破裂するなどして漏水が発生した場合は、中津川市指定給水装置工事業者(最寄の業者については中津川市公式ホームページで「中津川市指定給水装置工事業者」と検索ください。)または、中津川市上下水道料金センター(TEL0573-62-1285)にご連絡ください。



引用:水道PRパッケージ

漏水の確認方法

自宅内での漏水を確認したい場合には、次の手順で確認することができます。水道水を無駄にしないためにも**定期的に点検しましょう。**

- ① ご自宅の屋内外の蛇口すべてを閉めます。
- ② 水道メーターのパイロット(右写真の矢印部分)をしばらく見て、回転の有無を確認します。
- ③ もしパイロットが回っていたらどこかで漏水している可能性があります。



この場合、中津川市指定給水装置工事業者にお客様から直接、調査・修理を依頼してください。なお、費用はお客様の負担となります。

漏水が確認され、修理された場合は、修理内容により水道・下水道料金の減免を受けられる場合があります。(減免は、地下埋設部分と家屋床下や壁面などの内部の漏水箇所が対象となります。)

水道管の老朽化状況について

最近メディアでも取り上げられることの増えてきた公共インフラの老朽化ですが、中津川市の水道事業についても、施設整備後、40年以上が経過し、老朽化した管路が増えてきました。

中津川市の場合、各地域ごとにまとめて整備されているため、短期間に地域ごとに集中して水道施設の老朽化が進みます。

① 水道管が古いとどうなるの？

- ・古い水道管は破損したり、継手部分から漏水が起こります。
- ・いつも当たり前に出ていた蛇口からの水道水が断水します。
- ・漏水修繕中は給水車で水道水を配りますが、お風呂に入れられないなど生活に支障がでます。

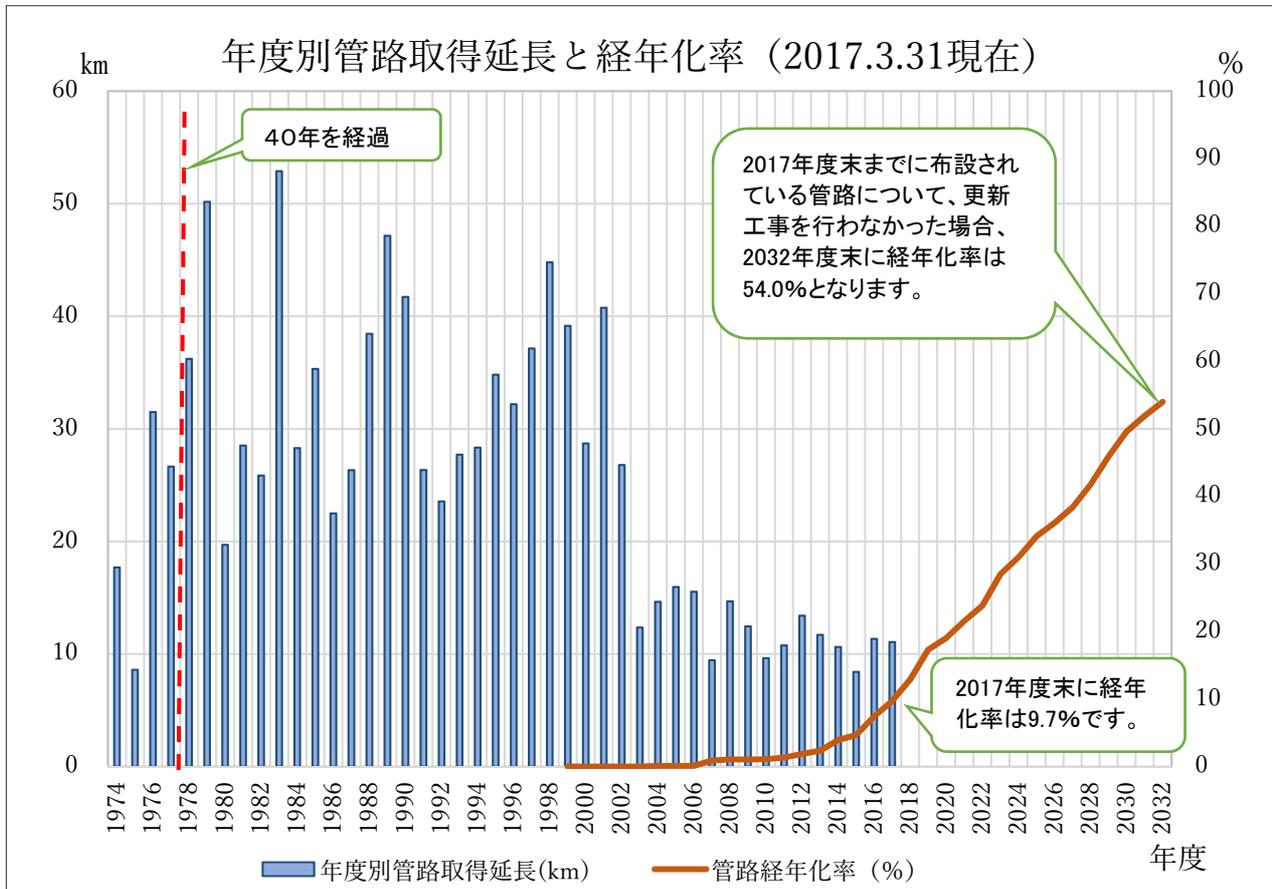


(老朽化し、穴が開いて漏水したり、鉄さびが付着した管)

② 中津川市の管路老朽化の状況はどうなってるの？

水道管の法定耐用年数は40年で、その耐用年数を超えた水道管を老朽管としています。

下のグラフは中津川市における水道管の年度別管路取得延長と布設後40年を経過した管路の割合を経年化率として表したものです。



中津川市の場合には1970年代から2000年代初頭にかけて水道施設の整備が進みました。そのため1970年代に整備が済んだ管路が40年を経過する2010年代ころから徐々に老朽管の割合が増えてきました。

管路更新工事を一切行わなかった場合には、2032年度に54%の管路が老朽管となってしまう。

③ 将来の更新工事についてはどのように考えるの？

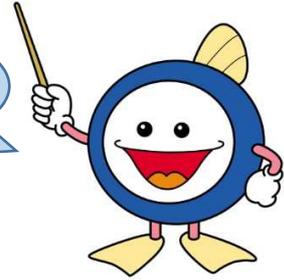
全国的に今までのペースで管路更新が推移すると、すべての管路が更新されるのに130年ほどかかるという報道がされるようになりましたが、中津川市水道事業についても同様な状況となっています。

このため中津川市水道事業では、アセットマネジメント(長期的な視野に立った計画的な資産管理)に基づき、更新需要の平準化を図り、限られた財源の中で優先順位を付け、計画的に更新を行っていきます。

また、更新需要を見込んだ適正な料金のあり方を検討し、企業債の借り入れと合わせ世代間の公平性が保たれるよう施設更新にかかる財源の確保に努めます。

下水道をご利用の皆様へのお願い

下水道に異物を流さないでください。



引用：日本下水道協会マスコット スイスイくん

下水道に異物を流したことが原因で、下水道管の詰まりやポンプの故障が発生しています。
最悪の場合、**ご自宅のトイレやお風呂から汚水があふれる事もあります。**

下水道に流してはダメなもの

■ 非水溶性の紙

- ・ティッシュ
- ・ウエットティッシュ など

■ 油類

- ・天ぷら油
- ・灯油
- ・その他油脂類全般

■ 脱脂綿類

- ・紙おむつ
- ・生理用品 など

■ 布類

- ・下着類
- ・タオル
- ・ガーゼ など

■ その他

- ・ガム
- ・タバコの吸い殻
- ・レジ袋などのビニール製品
- ・ディスポーザー（専用の排水装置が設置されていないタイプ）の排水 など

※右の写真は実際に下水道管に詰まって、汚水をあふれさせた原因となった異物（ウエットティッシュ等）の写真です。



各家庭・事業所等から流された汚水は下水道管に集まって、処理場へと流れていきます。
目詰まりを起こす場所によっては複数の場所から汚水があふれることにもなるので、**みんなで使う下水道という認識をもって排水を流していただくようお願いします。**